【大学間協定留学】留学報告書			
記入日	2024年12月30日		
明治大学の所属学部·研究科 ※学部·学科·研究科·専攻等	商学部		
留学(渡航)した時の学年	3 年生		
帰国年月日	2024年12月3日		
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月		
	留学先大学について		
留学先国	オーストラリア		
留学先大学	マッコーリー大学(日本語名)		
田子元八子	Macquarie University(現地言語名)		
現地使用言語/授業使用言語	英語/英語		
留学期間	2024年2月~2024年12月		
留学先大学で在籍した学年	3 年生		
留学先の所属学部等	□特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入)※学部等名日本語名:現地言語での名称:□ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している□ その他:		
形態	□国立 図公立 □私立 □その他:		
学年曆 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期:2 月下旬~6 月下旬 2 学期:7 月下旬~11 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~		
学生数	44,000		
創立年	1964 年		

		留学費用	
留学費用項目	現地通貨 (AUD)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舎費	15,385.66	1,538,566 円	Student Village North Ryde
食費	2,946.12	294,612 円	基本自炊していました。
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	329.95	32,995 円	空港で SIM カードを購入
現地交通費	0	0円	(⊠大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2,380.69	2,380.69 円	交際費、ジム代
被服費	167.49	16,749 円	
医療費	0	0円	
保険費	1,842.65	184,165 円	形態:海外旅行保険、OSHC
渡航旅費	1,946.84	194,684 円	往復
ピザ申請費	719.94	71,994 円	
維費	700	70,000 円	洗濯代、食器類、ベットセット、キッチン用 具、現金引き出し手数料、掃除用具など
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	26,419.34	2,641,934 円	1 AUD = 100 円

渡航関連
渡航経路
往路 出発地: 羽田国際空港 目的地:シドニー国際空港 経由地:
復路 出発地: シドニー国内空港 目的地:羽田国際空港 経由地:ケアンズ国際空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:
料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:カンタス航空 料金:1,200 AUD
復路 航空会社:ヴァージン・オーストラリア 料金:746.84 AUD ∴合計:1,946.84 AUD
航空券購入方法
□旅行代理店(店名:)
☑ インターネット(サイト名:Trip.com)
▽その他(復路はオフィシャルサイトから)
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先) (例:アパート、大学の宿舎等)
▽学生寮(寮の名前:Student Village North Ryde) □アパート □ホームステイ
2) 部屋の形態
☑個室 □相部屋(同居人数)
3) 共有部分
□バス □Mレ 図キッチン(図自炊可 □自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学からの案内
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドパイス)
マッコーリー大学が推奨する住居のなかで一番家賃が安かったです。その代わり、建物自体は若干古く、清潔感に欠ける部分はあります(私が入居したときはかなり汚かったです)。しかし、フラットメイトと友達になれば楽しいですし、キャンパスまで徒歩 10 分ほどという好立地です。定期的にイベントも開催されるので、友達を作る機会も多いと思います。

近くにマッコーリーセンターという大きなショッピングモールがあり、最寄りの Macquarie University Station からは、地下鉄一本でシティに行くことができます。余談ですが、マッコーリー大学には Food Hub という食料を学生に無料で配給す

るサービスがあります。予約して利用することをおすすめします。

現地情報
1) 留学期間中、病気やケがをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。 (例:現地の病院、学内の診療所)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
在留届を提出し、領事館から注意喚起のメールが届くことがありました。現地のニュースは、主にネットから集めていました。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
大学から、空港で SIM カードを学生割引で買える、という案内があったので、現地到着後に空港で買いました。自分で探せばもっと安く買えたと思います。寮では大学の WiFi を使っていました。接続に問題はありませんでした。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地で銀行口座は開かず、日本から持って行った VISA のキャッシュカードを使っていました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
基本的にはなんでも手に入ると思います。マッコーリーセンターには、ダイソーとユニクロがあります。 Top Ryde に日本食のスーパーがあるみたいです。薬は日本からいくつか持って行った方が良いです。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例:渡航前に自分で指定したクレシ・ットカート・で支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)		
1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
80 Cr Pts 単位		□ 単位 □単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び	履修制限	
	◯オンライン □メ-ル □ 換留学生が履修できない]その他() 受業のリストが、履修登録の時期に公開されました。
3)以下は留学先で履修した科 記入スペースが足りない場合は、	· · ·	今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 忝付してください。
履修した授業科目名(留学先	大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Asian Business Environment		アジアのビジネス環境
科目設置学部·研究科	Department of Economic	CS
履修期間	1 学期	
単位数	10 Cr Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認	限定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 180(レクチャー120 分とチュートリアル 60 分)分が1回	
担当教授	Elisabetta (Lisa) Magnani	
授業内容	インド、中国、日本、ベトナムにフォーカスして、それぞれの経済成長や社会問題(人口動態、環境・エネルギー、労働市場、不平等など)を経済理論を使って理解する授業でした。	
試験·課題等	中間試験、グループプレゼンテーション、期末試験	
感想を自由記入	中間試験、グループフレゼンテーション、期末試験 一番難しい授業でしたが、一番面白かった授業でもありました。3000 レベルの授業で春学期から受けるか迷いましたが、興味のある内容だったので受けました。当然ですが、経済用語が全部英語で出てくるので、レクチャーを理解するのが大変で、週末にはじつくり時間をかけて授業内容を復習していました。経済の基礎知識があやふやだったので、授業内容に対応するのに苦労したんだと思います。チュートリアルで扱われる問題に対応するためには、事前にしっかりと準備する必要がありますし、試験は重い論述試験でしたので、こちらもしっかりと準備する必要がありました。プレゼンテーションでは、グループごとにインド、中国、日本、ベトナムのなかから一つ社会問題を取り上げて発表しました。 特に、日本経済について、海外の視点から批判的に学ぶことができたので非常に面白かったです。他の学生の間でも、日本は経済的に未来が厳しい国である、という共通認識があり、日本人として危機感を抱きました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Ethics and Sustainability Management		倫理と持続可能性
科目設置学部·研究科	Department of Manager	ment
履修期間	1 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で詞	忍定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル、録画されたレクチャーを視聴 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Jeremy Mah	
授業内容	最初は地域や文化ごとに異なる倫理感(儒教、イスラム教、哲学)や、倫理に関する理論(CSR、ステークホルダー理論など)を学びました。その後、学んだ思想と理論を使って、社会と企業が直面する倫理と持続可能性に関するジレンマ(動物虐待、環境汚染、汚職など)について考えました。	
試験·課題等	グループプレゼンテーション、エッセイ、リフレクティブライティング	
感想を自由記入	答えのない問題について考えるため、チューターの質問に対する答えを考えるのが、かなり難しかったです。それでも、普段考えることのないジレンマに満ちた問題について考える、良い機会でした。チューターがダブルメジャーで日本語を専攻していたこともあり、日本に関わる質問をよく投げかけられました。日本が世界から批判されながらも捕鯨を続けていることについてどう思うかと質問され、日本の捕鯨についての知識が無く、答えるのに苦労した記憶があります。自国の社会問題について、もっと知っておくべきだなと思いました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Global Business		国際ビジネス
科目設置学部·研究科	Department of Manager	nent
履修期間	1 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で読	恩定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル、録画され	たレクチャーを視聴(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Mirabelle Cai	
授業内容	国際機関、貿易政策、文化、宗教、倫理、政治、経済、法律などの、国際ビジネスに関わる知識を幅広く学びました。	
試験·課題等	プレゼンテーション、グループレポート、アクティブエンゲージメント	
感想を自由記入	興味のある内容だったのと、1000レベルの授業だったので、現地の授業に慣れるために取りました。チュートリアルでは、その週の授業内容についてディスカッションをしました。質問や発言を積極的にすると、アクティブエンゲージメントの評価が上がります。グループレポートは、全体で 30 個の参考文献が必要だったので、文献探しに苦労しました。プレゼンテーションはグループで行うのですが、発表中にメモを見ることができず、話す内容を事前に暗記する必要がありました。プレゼン中のふるまいも評価対象に入りました。条件は厳しめでしたが、良いプレゼン練習になり、他の授業のプレゼンテーションで経験を活かすことができました。	

履修した授業科目名(留学先)	大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Consumer Behaviour		消費者行動論
科目設置学部·研究科	Department of Marketin	g
履修期間	1学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認	R定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル	レ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180(レクチャー	-60 分とチュートリアル 120 分)分が 1 回
担当教授	Rhys Ashby	
授業内容	消費者が購買決定をする際の、心理的変化、外部要因、価値観、ブランドの認知方法について学びました。	
試験·課題等	レポート、グループワーク、短いエッセイ、期末試験	
感想を自由記入	消費者が購買決定をするまでのプロセスを、学術的に分析して学びました。レクチャーでは、教授が話すスピードが速く、次のスライドに進むのも早かったので、ついていくのが大変でした。チュートリアルでは毎回グループワークがあり、毎週授業後には、エッセイと他の学生のエッセイに対するコメントを、それぞれ 150 words 書き、提出しました。期末試験は、学んだ理論とコンセプトを書いて説明することを求められるため、理論とコンセプトを暗記する必要があります。ですが、試験前最後のチュートリアルで全体の復習が行われ、そこで特に強調され丁寧に説明された箇所が、試験で出題されていました。そのため、全てを頑張って暗記する必要はないと思います。チュートリアルでは、良いエッセイとレポートの書き方、良い参考文献の調べ方を教えてくれます。試験の準備は大変ですが、1 学期目にこの授業を受けると、他の授業の課題で活かすことができます。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Cross Cultural Management		国際経営論
科目設置学部·研究科	Department of Manager	ment
履修期間	2 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で語	R定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル、録画され	たレクチャーを視聴(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Somi Alizadeh	
授業内容	国際ビジネスで直面しうる課題について勉強しました。ビジネスに影響する文化の違い (上下関係、評価方法の違い、個人主義か集団主義か、リスク回避の度合いなど)、 現地支社のマネージャーの雇方(現地の人か本社の国の人か)、海外進出方法、持続可能性や倫理などが扱われていました。	
試験·課題等	ケーススタディアナリシス、グループプレゼンテーション、メディアレポート、エッセイ	
感想を自由記入	ビジネスを国際的に展開していく際に起こりうる、異文化間の衝突にどう対処していくのかを学べる点が面白かったです。チュートリアルでは、チューターが質問を投げかけ、それについてディスカッションをすることがありました。自分のプレゼンテーションを終えた後は、話を聞いていれば大丈夫だったので、負担はそこまで重くありませんでした。しかし、メディアレポートでは、自分でニュース記事を探して 2000 words 書く必要があり、終わらせるのに苦労しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International Business Operat	ions	国際ビジネス運営論
科目設置学部·研究科	Department of Manager	nent
履修期間	2 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で語	限定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル、録画されたレクチャーを視聴(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Monica Ren	
授業内容	ビジネスの海外展開に関わる概念や理論について学びました。 貿易、海外展開戦略、市場評価の方法、進出形態、国際財務管理、マーケティングなど、国際ビジネスに関わる様々な内容が扱われました。	
試験·課題等	ビデオプレゼンテーション、グループレポート、リフレクティブライティング	
感想を自由記入	チューターが能動的に学ぶことを重視している方であったため、チュートリアルはグループワークが中心でした。グループごとに発表して意見交換する機会も多かったため、 退屈することはありませんでした。最初のチュートリアルでは、グループの仲を深めるために、授業中に教室の外に出て、キャンパスを周って指定の写真をグループで撮るということもありました。結果的には、グループメンバーと仲良くなり、一緒にディナーに行くことがありました。プレゼンテーションは、各自が録画したもの提出しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing Management		マーケティング管理論
科目設置学部·研究科	Department of Marketin	g
履修期間	2 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で語	R定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ワークショップ、録画されたレクチャーを視聴(チュ-トリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Lawrence Potter	
授業内容	ターゲットの選定から顧客への価値の提供まで、マーケティングの一連の流れを勉強しました。	
試験·課題等	チュートリアルでのパフォーマンス、ケーススタディアナリシス、レポート	
感想を自由記入	レクチャーの内容は、マーケティングの基本概念、STP と 4P の深掘りをする感じでした。チュートリアルでは、企業のマーケティングに関する事例を事前に読み、その企業のターゲット、戦略、課題と解決策などについてディスカッションを行いました。これを毎回やるので、かなり大変でした。評価されるグループは、予告なくその日に伝えられるので、なるべく出席することをおすすめします。また、この授業は実際にある企業と提携しています。最後の課題では、その企業のマーケティングの分析と課題に対する提案をレポートにまとめて、提出しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Integrated Marketing Communications		統合マーケティングコミュニケーション論
科目設置学部·研究科	Department of Marketin	ng
履修期間	2 学期	
単位数	10 Pts	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル、録画されたレクチャーを視聴(チュ-トリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Saad Khan	
授業内容	統合マーケティングコミュニケーション(IMC)を含めた、プロモーションの概念や理論について学びました。	
試験·課題等	グループワーク、レポート、IMC キャンペーンプロジェクト	
感想を自由記入	チュートリアルでは、レクチャーで扱われた概念や理論を使って、プロモーションプランをグループで考え提出しました。これを毎回やるので、なかなかしんどかったです。レポートでは、自分で IMC キャンペーンの事例を探し、その分析をまとめました。また、プロジェクトでは、自由に企業を選びそのビジネスの IMC キャンペーンを考え、提案を録画して提出しました。	

卒業後の進路について
1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
図就職 □進学 □未定 □その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
ワンキャリア、ビズリーチキャンパス、GlobalCaeer.com(海外大生や留学経験者向けの就活支援サイトです)
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えて下さい。また、その企業を選んだ理由も教えて下さい。 内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。 就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えて下さい。
メーカー、商社、物流
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アト・ハ・イスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアト・ハ・イスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を 教えてください。
留学前から就職活動についての情報を集めておくと、帰国後の動きをイメージしやすいと思います。あとは、友達や先輩に頼って助けを求めましょう。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えて下さい。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドパイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。 (例:語学試験の勉強、選考、出願、ピサ゚申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、 期末試験、その他イベント等)

Mayber advice on the control of the		
留学開始年の 前年	1月~ 3月	IELTS の勉強と受験
	4月~ 7月	語学要件達成、協定留学選考
	8月~ 9月	派遣校決定、留学準備開始
	10月~12月	住居探し、ビザ申請、保険加入、航空券手配
留学開始年	1月~ 3月	派遣校履修登録、明治大学学期末試験、渡豪
	4月~ 7月	授業、中休み、期末試験、冬休み
	8月~ 9月	授業、中休み
	10月~12月	授業、期末試験、夏休み、帰国
留学/帰国年	1月~ 3月	
	4月~ 7月	
	8月~ 9月	
	10月~12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、 自由に記入してください。

春出発の募集に出願した際、私は英語圏に行きたかったので、オーストラリアを選びました。マッコーリ大学はキャンパスがきれいだったのと、語学要件が厳しめだったので倍率が低くなると思い、選びました。語学要件を満たすのが意外と大変で苦労しましたが、きれいな施設に囲まれ充実したキャンパスライフを過ごせたので、頑張って良かったです。ニューサウスウェールズ州で一番のキャンパスだと勝手に思ってます。ビジネス系の授業が充実していたのも、マッコーリ大学を選んだ理由です。

幼少期に海外生活を経験したのにも関わらず英語力が低いことに対し、長年コンプレックスを抱いてきました。その状況を打破するために、留学することを決意しました。また、改めて日本の外に出てみて、海外を見てみたいという想いもありました。結果としては、留学して本当に良かったと思います。オーストラリアは多民族国家なので、多種多様な文化や価値観、色々な人生を歩んできた方々に出会うことができます。その経験が少なからず、今の私の考え方と人生観に影響を与えています。また、オーストラリアには日本が好きな方がたくさんいます。日本が世界に与える影響に驚き、日本の良さに気づく一方で、嫌なところも見えてきます。オーストラリアを旅行をして回ることで、今まで見たことのない景色にもたくさん出会うことができます。日本は暮らすのに非常に良い国ですが、小さな国でもあります。海外に飛び出してみないと、学べないこと、見えない景色がたくさんあることに、今回の留学を通して気づきました。

留学をすると、講義、ディスカッション、大量の課題を全て母国語ではない英語で対応し、処理しなければなりません。やはり、それはしんどいことです。試験勉強や課題のために、毎日夜遅くまで図書館に残ることもありました。単位を取るためには、それなりの努力をし、要領良くやる事をこなしていく必要があります。大変ですが、それを乗り越えれば、英語力の向上や自分の成長につながると思っています。

普段の大学生活は大変ですし、慣れない環境に身を置くことは多くの苦労を伴います。でも、それが気にならないくらいに、楽しいことがたくさんあり、貴重な経験を得ることができますし、一生の友達を作ることもできます。少しでも留学に興味があるのなら、ぜひ挑戦してみてください。きっと、人生でかけがいのない財産を得ることができるはずです。